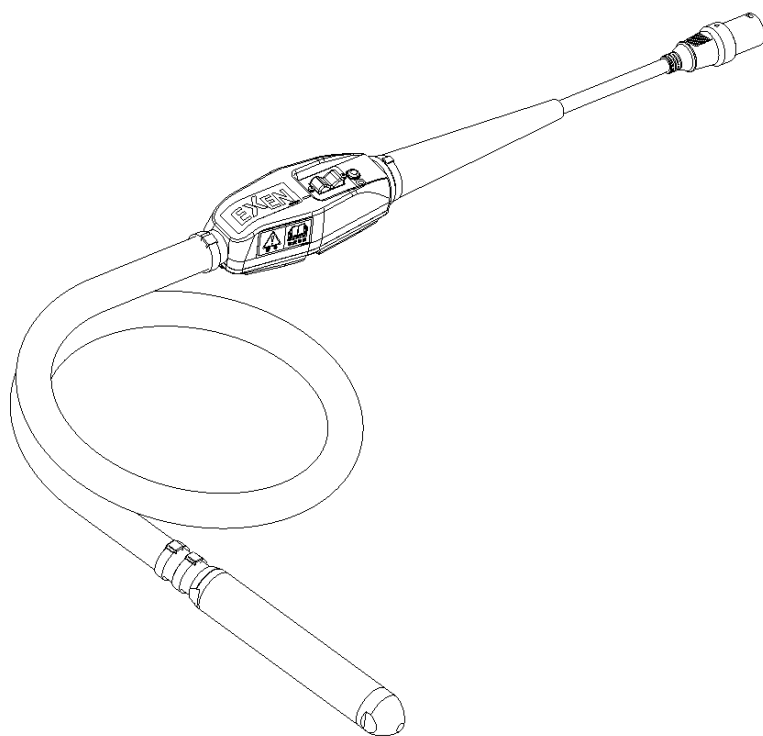




振動応用技術で、世界をひらく

コードレス高周波シリーズ インナーバイブレータ 取扱説明書



ECV40AM・40RM・40AMS
ECV50AM・50RM・50AMS

★ お買い上げありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

エクセン株式会社

☆ 安全情報

- ☆ この製品はコンクリートを締め固めるためのバイブレータです。コンクリートを締め固める目的以外には使用しないでください。
- ☆ 製品の安全性については十分に配慮していますが、この説明書の危険、警告、注意をよくお読みいただき正しくお使いください。また、電源機器の取扱説明書もよくお読みください。
- ☆ 下記の表示は万一にも他人や自分に障害や損害を与えることのないように、この製品を使用していただくための危険表示・警告表示・注意表示です。



危険

(DANGER)

【危険】は、死亡または重傷を負う可能性のある切迫した危険な状況を示す表示



警告

(WARNING)

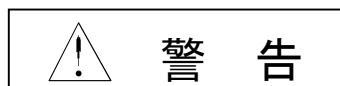
【警告】は、死亡または重傷を負う可能性のある危険な状況を示す表示



注意

(CAUTION)

【注意】は、軽傷または中程度の障害を負う可能性のある危険な状況を示す表示



(死亡事故を受けないために)

- ⚠ この製品は、マキタ製ポータブル電源ユニット（PDC01またはPDC1200）に接続してご使用ください。それ以外の電源機器に接続しての使用は絶対にしないでください。電子基板の破損やモータの焼損に繋がります。破損や焼損により絶縁物が破壊され感電する恐れがあります。
- ⚠ ポータブル電源ユニットPDC01は、マキタが指定した専用バッテリー以外を使用しないでください。
また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
- ⚠ バッテリー BL1860Bは、専用充電器以外では充電しないでください。
- ⚠ ポータブル電源ユニットPDC1200は、専用充電器以外では充電しないでください。
- ⚠ バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
バッテリーを工具箱や釘袋の中に入れるなど、金属片と一緒にしないでください。
短絡（ショート）して発熱・発火・破裂・爆発の危険性があります。
- ⚠ 充電器から取りはずして機器にすぐに取り付けない場合は、バッテリーに付属の保護カバーを必ず取り付けてください。
- ⚠ 高温などの過酷な条件下では、バッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触らないでください。炎症ややけどの原因になることがあります。
万一、バッテリーの液が目に入ったり、皮膚に付着した際は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- ⚠ バッテリーは火への投下、加熱をしないでください。
- ⚠ バッテリーを火のそばや炎天下など、高温の場所での充電・使用・保管はしないでください。
- ⚠ バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与える、または分解・改造をしないでください。
- ⚠ 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
- ⚠ バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。
また内部に水のような導電体を入れないでください。
短絡（ショート）して発熱・発火・破裂・爆発の危険性があります。
- ⚠ 使用時間が極端に短くなったバッテリーは、使用しないでください。
- ⚠ 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
充電式製品から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
- ⚠ この製品の分解・改造をしないでください。
感電・発熱・破裂・火災などを起こす恐れがあります。



(障害や損害を受けないために)

- ⚠️ コンクリートバイブレータを取り扱う事業者は厚生労働省 基発 0710 第2号「チェーンソー以外の振動工具の取扱い業務に係る振動障害予防対策指針（別紙）」に基づき、バイブレータの3軸合成値（手元振動の強さ）より作業時間を管理し、作業者の振動障害予防に努めなければなりません。

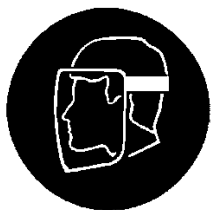
「チェーンソー以外の振動工具の取扱い業務に係る振動障害予防対策指針（別紙）」の詳細は安全衛生情報センターのホームページより入手できます。

また、エクセンホームページでも情報を掲載しています。

- ⚠️ この製品を空中で運転することは絶対にしないでください。
空中で運転すると振動部は数分で100℃以上に達します。触るとやけどします。

- ⚠️ 振動部は運転すると発熱します。
使用した後に誤って触らないようにしてください。やけどする恐れがあります。

- ⚠️ 足元や浅い場所を打設する場合は、コンクリートが飛び散ります。
顔面保護具（保護眼鏡・マスク）を着けて目や口などを保護してください。
騒音の大きい作業では防音保護具を着用してください。



顔面保護具着用



防音保護具着用

- ⚠️ ホースやケーブルを持って振動部を振り回さないでください。
周りの人やものに障害や損害を与える恐れがあります。

○ ま え が き

このたびはコードレス高周波インナーバイブレータをお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また十分に理解を深めるためポータブル電源ユニットとバッテリー充電器の取扱説明書も合わせてお読みください。

この製品の性能を十分に理解して適切な取り扱いと点検整備を行い、いつまでも安全に効率よく使用されるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

も く じ

☆ 安全情報	1
○ ま え が き	4
○ 安 全	5
○ システム構成	8
○ 各部の名称	9
○ 操作上の説明	10
○ LEDランプの説明	12
○ 使用後の清掃	13
○ バッテリーの充電方法（PDC01）	14
○ バッテリーの充電方法（PDC1200）	15
○ 点 検	16
○ 消耗部品の交換時期	17
○ 故障診断	18
○ 仕様・製品寸法	21

○ 安 全



注 意

(作業上身を守るために)

- 作業する場合は安全帽・防振手袋・安全靴・防音保護具・顔面保護具（保護眼鏡・マスク）および安全ベルトを着けて、安全な装備で行ってください。



安全帽着用



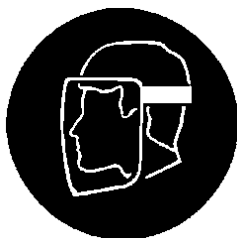
防振手袋着用



安全靴着用



防音保護具着用



顔面保護具着用



安全ベルト着用

- 作業する場合は飛散したコンクリートが皮膚に付着することで皮膚障害を起こさないよう長袖・長ズボンを着用し肌の露出を抑えてください。
- 鉄筋などの足場が悪い所では、必ず歩み板を敷いて足場を固めてから作業してください。
- この製品の作業中や移動時に鉄筋に引っ掛けたり、上にものが乗って自由を奪われたりするとつまずき、足を踏みはずして転倒やけがをする恐れがあります。
また、作業中断時に人の通る場所に放置すると足を引っ掛けて転倒やけがをする恐れがあります。
ホースとケーブルの取り扱いには十分気を付けてください。
- 作業する場合は、無理な姿勢や長時間の使用で身体に負担をかけることがあります。
適度な休憩をとるようにしてください。
また使用中に手、腕、肩、腰などに痛みやしびれを感じた際は、直ちに使用を中止し適切な処置を受けてください。
- 作業を一時止める場合は、安全な場所に保管してください。
通路などにおくと足を引っ掛けて転倒やけがをする恐れがあります。
- 異常や不具合が発生した際は、直ちにすべての電源を“OFF”にして使用を中止しポータブル電源ユニットを降ろしてください。
点検・修理を行う場合は最寄りの支店・営業所にお申し付けください。



注 意

(末永く使用していただくために)

- この製品の振動部はコンクリートに挿入することにより冷却しています。

コンクリートの外（空中）で運転しないでください。

モータが焼損する恐れがあります。



- ケーブルやホースの上に重いものを乗せたり落としたりしないでください。

ケーブルが断線して故障する恐れがあります。

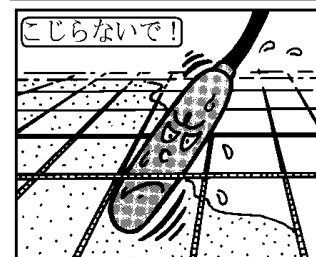


- 振動部がコンクリートに挿入された状態でスイッチのON・OFF動作を行わないでください。

コンクリートに挿入した状態で“OFF”にすると振動部が抜けなくなることがあります。



- 振動部で鉄筋や型枠などをこじらないでください。
振動部が摩耗しモータが焼損する恐れがあります。



- バイブレータをポータブル電源ユニットに接続して使用する場合は、必ず1人で作業を行ってください。2人でバイブレータとポータブル電源ユニットを別々に持って作業すると事故やけがの原因となります。
- 製品を移動・保管する場合は必ずポータブル電源ユニットの電源ボタンを切った状態で移動してください。電源を入れたままにすると不意に作動し事故やけがの原因となります。
- この製品の振動部をコンクリートや鉄板などの固いものの上で運転しないでください。ベアリングが破損しロータが折損する恐れがあります。
- 打設や移動の際はケーブルを引っ張ったり吊り下げたりしないでください。プラグが抜けケーブルの断線や電子基板の故障の原因となります。
- インバータケース内部に精密な電子機器を内蔵しております。ケースを落下、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- コネクタを抜き差しする場合は、必ずポータブル電源ユニットの電源を“OFF”にしてください。電源が“ON”のままコネクタを抜き差しすると故障する恐れがあります。
- プラグの端子は接触不良にならないように汚れ・錆はきれいに落としてからポータブル電源ユニットの出力ソケットに確実に差し込んでください。プラグの接触不良はモータが焼損し電子基板が破損する主な故障の原因の一つです。
- この製品に接続するポータブル電源ユニットはリチウムイオンバッテリーを使用しています。バッテリーに強い衝撃を与えたり、水をかけたり、高温になるものの近くにおかないでください。故障・感電・火災の原因となります。
- 異常が発生した際は、直ちに運転を停止してください。火災・感電・けがの原因となります。

○ システム構成

⚠ この製品は、マキタ製「ポータブル電源ユニット」専用機器です。他の電源装置を使用しないでください。感電・発熱・破裂・火災などを起こす恐れがあります。

ポータブル電源ユニット



●ポータブル電源ユニットPDC01
※バッテリーは別売りです。



●ポータブル電源ユニットPDC1200

コンクリートバイブレータ



●ECV-AM
●ECV-RM
●ECV-AMS

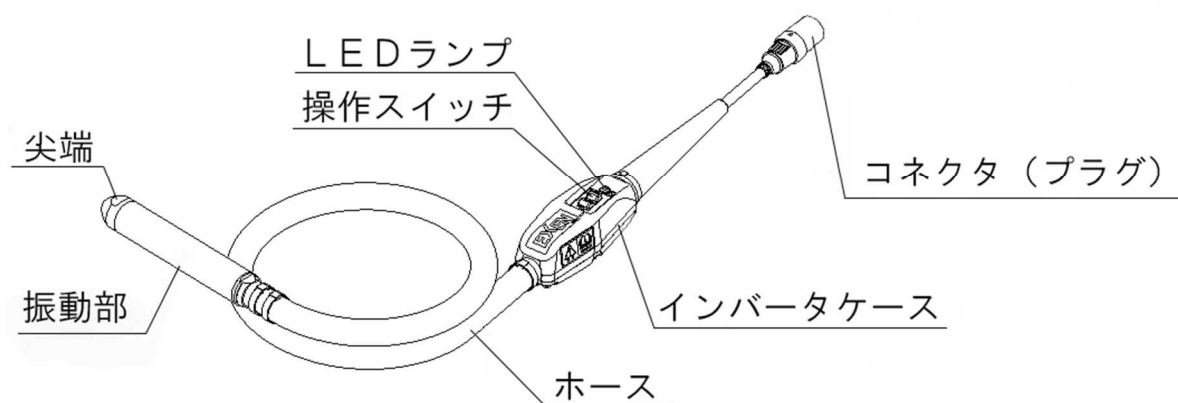
バッテリー電源機器



●パワーソースキット2
※ポータブル電源ユニットPDC01
と組み合わせてご使用ください。

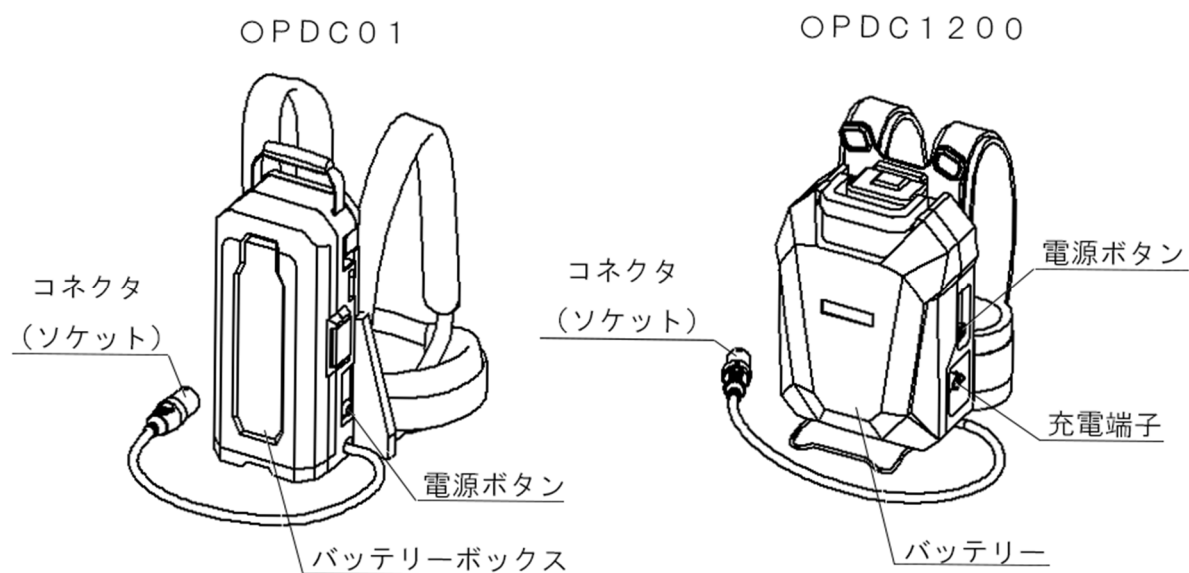
○ 各部の名称

■ バイブレータの名称



■ 電源機器の名称

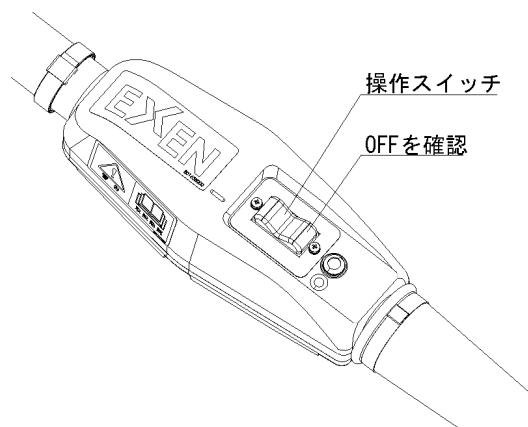
- 詳しくはマキタ製ポータブル電源ユニットおよびバッテリー電源機器の取扱説明書をお読みください。



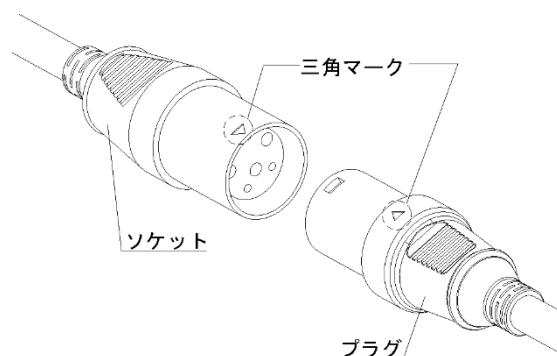
○ 操作上の説明

1. バイブレータの操作スイッチが“OFF”であることを確認します。

※ ○マーク側が“OFF”になります。

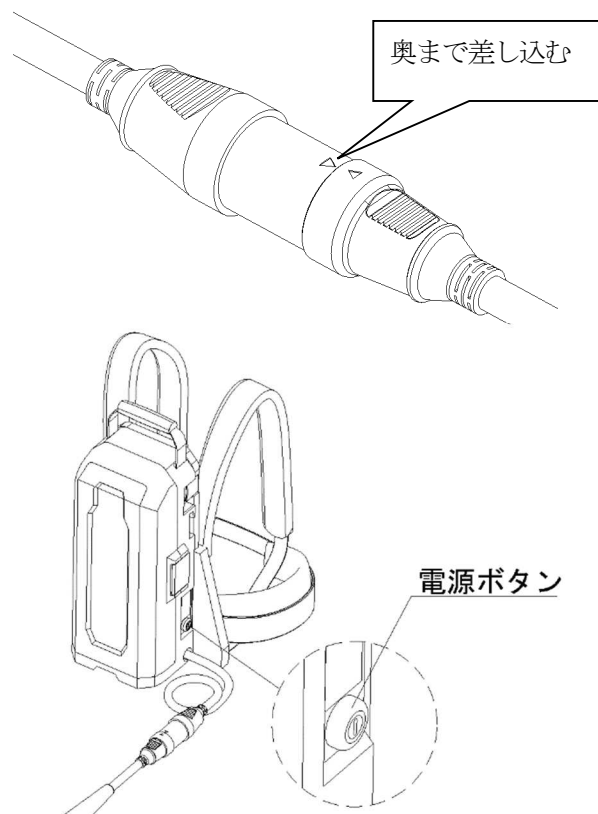


2. ポータブル電源ユニットのソケットとバイブレータ側のプラグの三角マークを合わせ、奥まで確実に差し込みます。



3. ポータブル電源ユニットの電源ボタンを押して“ON”にします。電源ランプが緑点灯します。また、バイブレータ側のLEDランプも緑点灯します。

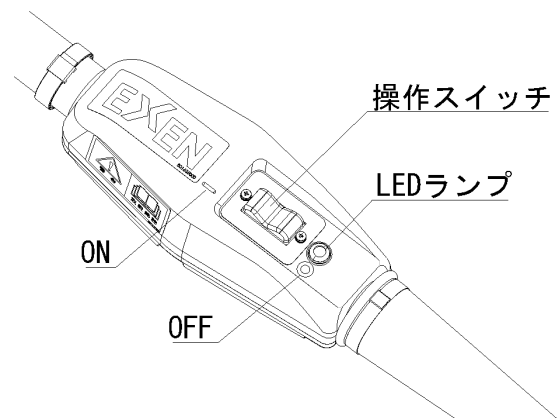
※ LEDランプが赤点滅の際は、誤動作防止機能が働いています。操作スイッチを“OFF”にすることで誤動作防止機能が解除され、バイブレータのLEDランプが緑点灯します。



4. バイブレータのホースを持って振動部を吊り下げて支えます。

5. 準備ができたなら操作スイッチを“ON”にしバイブレータを作動させます。

※ バイブレータホースの手元振動の弱い所を持ってください。



6. バイブレータを締め固め有効範囲内のピッチでコンクリートへ垂直に挿入します。

※ バイブレータの締め固め有効範囲は振動部直径の約10倍です。

7. バイブレータの差し替えの目安はバイブレータを挿入してコンクリートの沈下が止まり、表面にモルタルが均一に浮き上がって光沢を帯びてきたら次の場所に差し替えます。

※ 一箇所に振動を掛け過ぎるとコンクリート分離の原因になります。

※ 打設中に分離が起きた際は粗骨材を平均的に埋め直した後に、再度打設してください。

※ 振動部がコンクリートに挿入していない間は、操作スイッチを“OFF”にすることをすすめます。バイブレータの使用時間が長くなります。

8. バイブレータを引き上げる場合は穴が残らないようにゆっくり引き上げます。

※ バイブレータを急に引き抜くと機器保護のためバイブレータが停止する場合があります。

9. 打設が終了したらバイブレータの操作スイッチを“OFF”にし、バイブレータを停止します。

10. ポータブル電源ユニットの電源ボタンを長押しし、出力を停止します。電源ランプが消灯します。

11. ポータブル電源ユニットとバイブレータを接続しているコネクタを外します。

※ コネクタを外す場合は、コード自体を引っ張らずソケットとプラグを持って外します。

○ LEDランプの説明

- LEDランプの点灯・点滅でインバータの出力状態を確認できます。
- 点滅する場合は保護機能が働き出力を停止しています。作業を中止し異常の原因を取り除いてから作業を再開してください。

LEDランプの状態	インバータの出力状態
1. 緑点灯	正常な状態です。バイブレータは使用可能です。
2. 緑点滅	バイブレータが過負荷の状態です。バイブレータは使用可能ですが、過負荷による故障を防ぐため振動数を下げています。過負荷の状態が解消されると正常な状態に復帰します。
3. 赤点滅	誤作動防止機能が働いている状態です。 バイブレータの操作スイッチが“ON”の状態 で電源を入れた際に、不意にバイブレータが作動することを防ぐ機能です。操作スイッチを“OFF”にすると正常な状態に復帰します。
4. 赤点灯	異常を検出した際、インバータの出力を停止します。 赤点灯の際は、以下の確認をお願いします。 ・バッテリーの残量を確認してください。 ・鉄筋などによる拘束、過剰な負荷はありませんか？ 問題が見つからなければ、スイッチを“OFF”にすると正常な状態（緑点灯）に復帰します。 繰り返し赤点灯となる場合は故障が疑われます。点検・修理が必要です。
5. 点灯しない	電源側に問題が発生したためバイブレータを停止しています。 電池切れ、バッテリーの入れ間違い、または故障の可能性があります。 電源の点検をお願いいたします。

○ 使用後の清掃

○ 使用後はきれいに清掃してきれいに束ねてください。

1. 振動部・ホース・インバータケースおよびケーブルに付いたコンクリートは固まる前に落としてください。
2. インバータケース部は水洗いしないでください。
付着した汚れは、水でぬらした布でふき取ってください。
ふき取った後は水分が残らないよう乾いた布でふき取ってください。
3. プラグやソケットの端子部分に汚れ・錆がある場合はきれいに清掃してください。
端子の接触不良は動作不良の原因となります。
4. 持ち運ぶ場合はポータブル電源ユニットのソケットとバイブレータ側のプラグを外した状態で移動してください。
5. 持ち運ぶ場合はバイブレータ部およびポータブル電源ユニットのハンドル部を持ってください。
バイブレータまたはポータブル電源ユニットのいずれかを持って吊り上げたり、引っ張ったりしないでください。
バイブレータの摩耗や電源ケーブルの断線の原因となります。
6. 持ち運ぶ場合は必ずポータブル電源ユニットの電源ボタンを切った状態で移動してください。
電源ボタンを長押しすると電源が切れます。

○ バッテリーの充電方法（PDC01）

- バッテリーの充電を行う前に必ず2口急速充電器DC18RDの取扱説明書をお読みください。
 - ポータブル電源ユニットPDC01からバッテリーBL1860Bを取り出してください。
 - 充電する場合は周囲温度が10℃～40℃の屋内環境下で充電してください。
 - 炎天下での作業後などバッテリーの温度が高い場合（40℃以上）は一時的に充電ができなくなる場合がありますが、バッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。
バッテリーが冷えるまでしばらく時間をおいた後、再度充電してください。
1. 充電器の電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込みます。充電表示ライトが緑色に点滅します。
※ AC200V電源、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類は使用しないでください。
 2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって一番奥まで入れてください。
 3. バッテリーが正しく挿入されると充電表示ライトが赤色に点灯し、メロディーの確認音が短時間鳴り充電を開始します。
 4. 充電が完了すると充電表示ライトが緑色の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。
※ 充電完了後すぐに使用しない場合はバッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約30分です。
 5. 充電が終わりましたら充電器をコンセントから抜いてください。
※ 充電器からバッテリーを外した際は、バッテリーに付属の保護カバーを必ず取り付けてください。

○ バッテリーの充電方法（PDC1200）

- バッテリーの充電を行う前に必ずPDC1200の取扱説明書をお読みください。
 - 充電する場合は周囲温度が10℃～40℃の屋内環境下で充電してください。
 - 炎天下での作業後などバッテリーの温度が高い場合（40℃以上）は一時的に充電ができなくなる場合がありますが、バッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。
バッテリーが冷えるまでしばらく時間をおいた後、再度充電してください。
 - 充電器はAC100V専用です。AC200V電源、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類は使用しないでください。
 - 充電器の前面と側面にある穴は冷却用の通気口なのでふさがらないでください。
また冷却不足により充電時間が長くなることがあります。通気口がゴミやほこりでふさがれないよう定期的な点検をおすすめします。
1. ポータブル電源ユニット側面の充電端子からプラグキャップを回して取りはずします。
 2. 充電器の充電端子をポータブル電源ユニットに接続します。
充電端子には位置合わせのための凹凸がありますので、凹凸を確認し合わせてから充電端子を差し込んでください。充電端子の固定リングを回してしっかり接続します。
 3. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
自動的に充電が開始され、充電中は電源ランプが赤点灯し残量表示ランプが緑色に点滅します。
 4. 充電が完了したら充電器を電源コンセントから抜き、充電器の充電端子をポータブル電源ユニットから取りはずします。ポータブル電源ユニットの充電端子にプラグキャップを取り付けます。
※ プラグキャップの付け忘れに注意してください。

○ 点 検

○ 現場へ搬入する前と使用後は必ず次の項目を点検してください。使用中のトラブルをできるだけ少なくするためです。

1. バイブレータに著しい摩耗・亀裂および緩みなど発生していないか？
2. ホースに著しい摩耗・破れおよび傷など発生していないか？
3. ケーブルに摩耗や被覆の亀裂など発生していないか？
4. インバータケースの変形、ネジの緩み、操作スイッチやLEDランプのカバー部など各部に破損がないか？
5. プラグやソケットの端子に汚れや錆など発生していないか？
6. 絶縁抵抗値は正常か？（DC 500V, 10MΩ以上）
 1. 測定器は500V用絶縁抵抗計を使用してください。
 2. 測定はプラグの端子・インバータケース間で行ってください。
※ 測定する場合は、プラグの接続子それぞれの極間での測定は絶対に行わないでください。インバータ基板が破損します。
7. ポータブル電源ユニットにひび割れ、打痕など損傷がないか？
8. バッテリーは満充電の状態か？
9. ポータブル電源ユニットとバイブレータを接続し空中でバイブレータが動作するか？
その際、インバータケースのLEDランプが緑色に点灯しているか？
10. バイブレータから異音がしないか？運転音は正常か？（一定の運転音が正常）

○ 消耗部品の交換時期

○ 消耗部品の交換は次の項目を参考にして行ってください。

消耗部品	視覚・聴覚による交換時期の判断	交換時期・時間 (目安)
振動部・尖端	摩耗具合で判断 (視覚)	300～500時間
ベアリング	運転時の音で判断 (聴覚)	400～500時間
ホース	摩耗や傷の具合で判断 (視覚)	発見次第

※ 消耗部品の交換時期は目安時間です。

使用状況により異なりますので早めの交換をおすすめします。

○ 故障診断

- 製品の使用中に以下の状態が見られた際は使用を中止し、原因と処置を確認してください。
- 点検・修理を行う場合は最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

状態	症状1	症状2	原因	処置
バイブレータが 作動する	バイブレータの振動部から異音が する（金属音など）		ベアリング異常 （ゴロツキ・摩耗）	ベアリング交換
	振動が弱い	インバータケー ス上のLEDが <u>緑点滅</u> している。	ベアリング異常 （ゴロツキ・摩耗）	ベアリング交換
			バイブレータの 能力を超える過 負荷の状態です。	振動部をコンクリートか ら引き抜くなど負荷の軽 減を行ってください。
	運転中に停止	インバータケー ス上のLEDが <u>赤点灯</u> している。	バイブレータの 能力を著しく超 える過負荷な状 態です。 バッテリー残量 が少なくバイブ レータの能力が 低下しています。	振動部をコンクリートか ら引き抜くなど負荷の軽 減を行った後、電源を入 れ直してください。 赤ランプの点灯が何度も 起きる場合はバッテリー を確認し、満充電のとき は点検・修理が必要です。

状態	症状1	症状2	原因	処置
バイブレータが 作動しない	インバータケー ス上のLEDラ ンプが点灯して いない。	ポータブル電源 ユニットの電源 ランプが点灯し ない。	ポータブル電源ユニ ットの電源が入って いない。	ポータブル電源ユニッ トの電源を“ON”にし てください。
			バッテリーが取り付 けられていない。 または、バッテリー の残量不足。	バッテリーを取り付け る。または、充電してく ださい。
			ポータブル電源ユニ ットが故障してい る。	点検・修理が必要です。
		ポータブル電源 ユニットの電源 ランプが <u>緑と赤 の交互点滅</u> をし ている。	ポータブル電源ユニ ットが異常を検出し た。	ポータブル電源ユニッ トの電源を切り再度入 れ直してください。
			ポータブル電源ユニ ットが故障してい る。	点検・修理が必要です。
		ポータブル電源 ユニットの電源 ランプが <u>緑点灯</u> している。	バイブレータ側のプ ラグとポータブル電 源ユニット側のソケ ットが正しく接続さ れていない。 または、ケーブルが 断線している。	プラグとソケットをし っかり接続してくださ い。 断線の際は点検・修理が 必要です。
			バイブレータ側のイ ンバータ基板が故障 している。	点検・修理が必要です。

状態	症状 1	症状 2	原因	処置
バイブレータ が作動しない	インバータケー ス上のLEDラン プが点灯して いない。	ポータブル電源 ユニットの電源 ランプが <u>緑点滅</u> している。	バッテリー残量が少 ない。 または、正しく取り 付けられていない。	バッテリーの残量 表示を確認します。 残量が十分であれ ばバッテリーの取 り付けを確認して ください。
			ポータブル電源ユニ ットやコードなどが 高温になっている。	ポータブル電源ユ ニットを冷やして ください。
			バイブレータのプラ グとポータブル電源 ユニット側のソケッ トが正しく接続され ていない。または断 線している。	プラグとソケット をしっかりと接続し てください。 断線の際は点検・修 理が必要です。
	インバータケース上のLEDラン プが <u>赤点灯</u> している。		故障を検出したため バイブレータを停止 している。	ポータブル電源ユ ニットの電源を入 れ直してください。 LEDランプが何 度も赤点灯する場 合は点検・修理が必 要です。
	インバータケース上のLEDラン プが <u>赤点滅</u> している。		バイブレータの 誤作動防止機能が働 いています。	一度バイブレータ の操作スイッチを “OFF”にした後 再度スイッチを “ON”に入れてく ださい。

○ 仕様・製品寸法

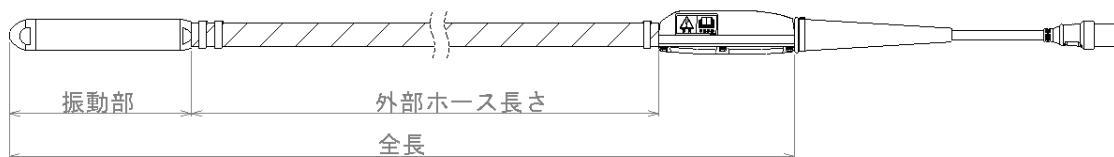
■ 仕様

型式	出力 (W)	電圧 (V)	電流 (A)	振動数 (Hz)	全長 (mm)	振動部 (径×長 mm)	外部ホース (径×長 mm)	質量 (kg)
ECV40AM 1.5M	250	36	8.7	200	1,945	43×255	33×1,500	4.8
ECV40AM 3M					3,445		33×3,000	5.9
ECV50AM 1.5M	400		14.0		1,977	52×287	33×1,500	5.6
ECV50AM 3M					3,477		33×3,000	6.7
ECV40RM 1.5M	250		8.7		1,967	43×277	33×1,500	4.8
ECV40RM 3M					3,467		33×3,000	5.9
ECV50RM 1.5M	400		14.0		1,994	52×304	33×1,500	5.6
ECV50RM 3M					3,494		33×3,000	6.7
ECV40AMS 1.5M	250		8.7		1,945	43×255	33×1,500	4.8
ECV40AMS 3M					3,445		33×3,000	5.9
ECV50AMS 1.5M	400		14.0		1,977	52×287	33×1,500	5.6
ECV50AMS 3M					3,477		33×3,000	6.7

※ 質量はポータブル電源ユニットを含んでおりません。

■ 製品寸法図

ECV-Mシリーズ



■ 運転時間

型式	PDC 01 使用時 (分)	PDC 1200 使用時 (分)
ECV 40 AM 1.5M	約 100	約 300
ECV 40 AM 3M		
ECV 50 AM 1.5M	約 60	約 200
ECV 50 AM 3M		
ECV 40 RM 1.5M	約 100	約 300
ECV 40 RM 3M		
ECV 50 RM 1.5M	約 60	約 200
ECV 50 RM 3M		
ECV 40 AMS 1.5M	約 100	約 300
ECV 40 AMS 3M		
ECV 50 AMS 1.5M	約 60	約 200
ECV 50 AMS 3M		

※ PDC 01 の運転時間はバッテリー BL 1860B を 4 個装着した際の時間です。

※ 運転時間は連続で運転した際の参考値です。バッテリーの充電状態や使用環境により異なります。

■ 3 軸合成値

型 式	3 軸合成値 (m/s^2)
ECV 40 AM	2.5 未満
ECV 50 AM	2.5
ECV 40 RM	2.5 未満
ECV 50 RM	3.0
ECV 40 AMS	2.5 未満
ECV 50 AMS	2.5

※ 3 軸合成値は、JIS B 7761-1 に準拠した測定器を使用し、JIS B 7761-2 に基づく方法にて測定した値です。



本社	〒105-0013	東京都港区浜松町 1-17-13	TEL 03-3434-8455	FAX 03-3434-1658
草加工場	〒340-0003	草加市稲荷 5-26-1	TEL 048-931-1111	FAX 048-935-4473

<https://www.exen.co.jp/>